

さ ざ ん か

第72号、2007年10月

猛暑のあとは涼しい秋を期待していたのですが、夏の余韻がいつまでも残った今年の秋模様です。それでも田んぼはいつものように地を黄金色の海に変え、いっせいに稲穂が秋風になびく風景は確実に秋を感じさせてくれました。こんなところにまで田んぼがあるのかと黄金色の絨毯をみて驚くほど小さな土地でもお米を育ててきたことが分かります。

環境保全も含めて稲作は日本になくてはならない産業ですが、その稲作も含めて農業を担う人たちの高齢化が限界にきつつあります。もう随分昔から農業は3ちゃん農業といわれていたような記憶があります。(じいちゃん、ばあちゃん、かあちゃんの3人で担っているということだったでしょうか) そのじいちゃん、ばあちゃんも多くが80歳近くの方が多くなってきているようです。10年後はどうなっていることでしょうか。とうちゃん、にいちゃん、ねえちゃんが農業に従事できるような産業構造にならなければ地方は衰退するばかりです。環境保全、食の安全・安心、地方に定住することによる波及効果などを考えると、一見非効率でも必要な農業政策があるのではないのでしょうか。

効率一点張りの農業政策では大規模農業をするアメリカや、オーストラリアや中国などの大陸で営む農業に負けるに決まっています。それでも効率をいうのであれば効率的な(有効な)補助政策が必要ではないのでしょうか。高速で走れる農免道路は要らないということでしょう。所得保障と自由化政策のバランスのよい組み合わせが必要である、と先日NHKテレビの番組でEUの元農業大臣が言ってました。まさにそういうことなのでしょうね。所得の保証がないと若者は残れません。残念なことではあるけれども、所得の保証のみでは若者は意欲ある農業に取り組まないのもまた事実のようです。言葉は悪いけど、アメとムチが必要と言うことのように。子育ても褒めっぱなしでもダメ、しかりばなしでもダメ、褒めたりしかつたりバランスが大事です。まったく人の世は面倒ですね。

俳句

西屋敷喜美子

秋耕を 終へて一日の けじめとす

生垣の 萩にふれつつ 坂の道

病院からのお知らせ

- * 外来の採血開始時間は午前8時開始になっております。朝食抜きの採血があるときは早めに来院して採血をすませ、診察時間が来るまでゆっくりと朝食を取っていただけると思います。
- * 骨密度、測ってみられましたか？ご希望の方はいつでもできますので、各科窓口でおたずねください。骨粗しょう症の進行を予防できることがあります。
骨密度を上げるお薬を服用している方は、骨密度が上昇したかどうか確認してみたいかがでしょうか。
- * MRI で脳の検査をしてみませんか？目的は脳卒中や認知症（ボケ）の予防につながるからです。また、脳動脈瘤の発見にも威力を発揮します。脳ドック以外でも脳神経外科または神経内科外来にてご相談ください。
- * MRI は腰痛の検査にも威力を発揮します（脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニアなど）。あるいは肩こりや手のしびれの原因を探すのにも有用です。精密検査希望の方は神経内科外来にてご相談下さい。
- * マルチスライスCTで、心臓冠動脈造影もできます。心臓カテーテル検査の代わりにもなることもあります。その他全身の血管撮影に威力を発揮します。人は血管と共に老いる、といいます。MR血管撮影とあわせて利用できます。ご相談は各科の主治医にどうぞ。
- * 一階売店近くのロビーに「創作ひばり会」の盆栽が展示してあります。日本人の粋を代表する芸術ですのでゆっくり「盆栽ワールド」をご堪能下さい。
- * 新式のマンモグラフィーが導入されております。乳がん検査に威力を発揮いたします。乳がんが気になる方は外科外来へお申し出ください。
- * リハビリテーションのみが目的の方で、2,3ヶ月歩行訓練とか筋力増強訓練を希望される方には亜急性期病床を8床準備してあります。ご希望の方がいらっしゃれば各科外来にてご相談下さい。
- * 北薩病院のホームページにもこの「さざんか」は掲載しております。ホームページを見ていただくことで、遠方在住の家族の方に、自分の親や兄弟、姉妹がかかっている病院のことを少しでも知っていただければよいなと思います。
- * 専門外来のお知らせ
肝臓病：毎週月曜日午後（鹿児島大学小原医師）
血液病：毎月第2火曜日（鹿児島大学大納医師）
糖尿病：毎週 月、金曜日（福重医師）
神経難病外来：隔週水曜日午後（院長）

子供は親を見て育つ 宮園辰夫

子供に対して教えるってことは、そんな大上段にふりかぶった難しい問題ぢやないと思うんだ。最高学府を出たからってあなたは偉い人ってもんでもない。その道に努力しなければ普通の人。人間同士として言葉が通じる家庭であれば毎日の生活の中に、教育がある筈だ。それは子供が親を手伝うといったことでもいいと思うんだ。家庭や商売をやっている家では、そういうコミュニケーションが自然にとれてる場合が多い。親が忙しくてできな所を子供が手伝う。出前をするとか、メシの支度をするとか、店番をするとか、何でもいい。そうしているうちに誰となく、たとへば、「ありがとうございます」って挨拶をすることを覚えるんだ。

職場でもそういうことが言える。それは学校では教えない教育なんだ。そういうことから親のおかげで自分達はメシが食えるんだってこともわかるし、こんなんしてやれば病人も喜ぶし、子供も若者も年寄りも、生活の中で、自分が役に立っていることもわかる。商売をやっている家ではそういうことが比較的スムーズにできるけど、サラリーマンの家庭では、生活の範囲での親の仕事ってものが、煩雑じゃないから、そこで子供の教育をどうするかってのは、課題が残るな。親ってのは上と下、つまり年寄りを子供達の接点になっているんだ。だからその役割は大きい。親が年寄りにどういう態度で接しているかは、子供はちゃんと見ているんだ。つまりそれが知らず知らずのうちに子供に対する教育になっているんだ。

親が年寄りに対して、思いやりのある対応をしていけば、子供達はそういうもんかと思うだろうし、反対に年寄りに対して冷たくしていれば、いずれ自分達がそういう冷たい反応をされても、文句は言えないわけだ。これは何も「因果応報」ってなことじゃなく、現実として、子供は親を見て育つと云うことになる。「子供は親の言うことは聞かないが、真似はするぞ」

短歌

膝痛みて 日々に心を閉ざす妻 夜更けにもらすつづやき聞こゆ

両の手に余る程の薬受け取りて病院出づれば暖かき夏の日

さつま狂句

爺い似て 小言ずい似た馬鹿孫わ

釜持者ち昔しや土族ち鼻かけつ

空に咲くさくら

平城 エミ

その桜を、花の咲く季節に是非見たい、そんな願いをもって、何度この山に昇って来たことか。然し、雨にたたられたり、季節がずれたり、一夜の嵐で跡かたなく散り果てて、展望台から、樹幹さえ定かに仰げぬと云う事などあって、何時も花の幻を心に描いているに過ぎなかったのに今年は恵まれた。

雨もよいの午前、救急法の研修会があって、人形相手に人工呼吸器法をみっちり 3 時間、講堂を出てみると風もない穏やかな青空、絶好の花見日和になっていた。グループの中より声あり。「えどひがんが見頃だつてよ！行ってみようか！」「それはいい！」忽ち衆議一決、十曾行きとなったものである。雨に洗われた緑を背景に、思ひもかけぬ処へ咲く桜、それ等を従者の如く従えて、七曲りの尾根を登りつめたその真正面に、その桜はピンクのベールをかけた様に咲いていた。巨大な樹幹は急斜面の照葉樹林の中に、怪物の様な足を踏ん張って、周囲の樹木をぬきん出て、青空を背景に小ぶりの花をピンクの雲の様に咲かせていた。鶯が啼いた！幸せと云うほかなし流石日本一の桜ではある。

空に咲く花—エドヒガン桜の里から— より転載

パラレルワールド

カラーマン（とその女）

過日の健康診断の結果の通知を貰う。いまいまでも中性脂肪と尿酸の上昇を指摘され、ふん、健康オタクで細く長生きするより、好きなものを食べて早死にしてもかまわんわい、と居直ってはみるものの、まあ、日常で出来ることはしといた方がいいかなあ思い（そのへんの優柔不断ていうか情けないところがあなたらしくていいわね。居直りきれないっていうか・・・）とりあえず、毎日飲んでいるビールを試しにやめてみる事にした。意外とそれほど苦痛ではなかった。夜のビールを止めて、3 日目の朝。

前夜は、「ブラックペアン 1988」という医療モノの小説を読み、その後眠れずにもう 1 冊科学モノの新書を途中まで読んで午前 2 時頃に寝た。

朝、いつもどおり、携帯電話にセットした 6 時のアラームがなる。それを寝ぼけまなこでムカつきながらとめて（何で起すんや。もっと寝かさるか）次に目覚まし時計のアラームが 6 時半に鳴るのを、これまた寝ぼけた頭でポーとしながら待つのがいつもの朝の風景である。その日も同じように、6 時に携帯電話のアラームが、6 時半に目覚まし時計のアラームがなった（ような気がする）。ここまではいつも通りである。その後グデグデしながらも 6 時 50 分くらいから行動開始、トイレとか洗面を済ませて大体 7 時 15 分か 20 分に家を出て、7 時半前後に仕事場に着くのがいつもの私である。

その日も同じように起きた。目覚ましを止めたあと、ちょっとだけうたた寝をし、壁の古ぼけた柱時計を一瞥すると大体いつもどおりの 50 分であった（と思った）。ああ、今日のうたた寝はなんか充実感があったなあ、などとつまらないことを思いながら家を 7 時 10

分に出発した。(はずだった)

いつもよりちょっと(5分か10分くらい)早いけど、早めに早朝の仕事を済ませて始業時間前ゆっくりして今日一日に備えよう。ふんふん。

たいがい朝はカーラジオでMBCの番組を聴きながら車を運転している。あれ、今日はいつもと番組が違うなあ、なんでだろう。ああ、そうか、10月から番組改編とか言っていたからこれまでは変わったんだ。朝からつまらないクイズ番組をやっていて馬鹿馬鹿しいなあと思いつつ聴いていたので番組が変わって良かったなあ、などと思いつつ通勤路をいつものように走行距離10万キロを越えたホンダの愛車で走る。秋の交通安全運動中のせいであろうか、殆ど子供たちの姿は見えないのに、交差点には黄色い帽子とリボンをつけたみすぼらしいオッサンがたっていた。特に理由はないが、できるだけ目を合わせないようにして交差点をすぎる。(みすぼらしいオッサン同士が目を合わせるってなんか気持ち悪いもんねえ。アイコンタクトをするオッサンたち、うう、気持ち悪いわあ)

職場に近づく。このカーブを曲がるといつも車を止める駐車場が見えてくるはずだ。今日はいつもよりちょっと早いから誰も来てないかも。でも異常に早く出勤する人もいるから1,2台はもう止まっているかも、などとどうでもいいことを考えながら緩やかなカーブを曲がる。

そのあと、私が見た光景は衝撃的な光景であった。いや、光景そのものは実に平凡でありふれたいつもの光景であったのだが、私にとっては天と地がひっくり返るような、あるいは突然あなたはガンです、と宣告されたような信じられない状況であった。パラレルワールド。異次元に迷い込んだ感覚だ。何が起こったのだ。どういうことなんだ。アンビリバボー！虫になった「変身」のグレゴール・ザムザの心境である。なんと駐車場は満杯。

わけの分からないまま駐車場に車を乗り入れる。いつもの駐車スペースどころか周りの駐車スペースもすべて満車である。さすがに賢いと自認する私だ。どういうことであるか理解する行動をとるまで数秒間。車の時計を見て今は7時20分でなくて8時20分だと確認するまでさらに数秒。すべてを理解した。(いかに自分がアホかこれで分かったのでは？いつもあたしをアホ呼ばわりしてるから、なんか気持ちいいわあ)何のこっちゃ。完全に1時間、時間を間違えていたのだった。それを理解した後も信じられない気分だ。何故だ、どこでこうなった。どこで歯車が狂ったのか。いつボタンを掛け違えた？やはり関東軍の暴走は止めるべきだったのだ。(ねえ、ほんとに大丈夫？)或いは、これはまだ朝のうたた寝の夢の続きの中なのか。なんだ夢だったのかと。

異次元に迷い込んだままの状態ですぐ遠くの駐車場まで行って車を止める。幸いに8時半の

始業時間には間に合ったが、駐車場から建物に向かう途中も歩きながらつぶやき続ける。何故だ。どこでどうなった。いつもの通りじゃなかったのか。今日は何か特別の日だったか？創立記念日とか、みんなで早起きしましょうデーとか。(あいかわらずおバカさんねえ)

世の中の動きとはまったく別の次元で行動していた自分は一体どういう存在だったのだろうか。自分が死んだ後も、世の中は何ごともなく自分とは関係なく普段どおりに存在し続けるとはこういうことなのだろうか。(そうなのかもしれないわねえ。存在の不確かさというか空しさを感じるわねえ)

結論的には 10 分か 20 分のつもりの朝のまどろみが実は 1 時間のまどろみであり、目が覚めたときにそのことを全く疑わずに 1 時間遅れの時間をすごした、ということなのであるが、振り返ると沢山の伏線があった。

いつも飲むビールを飲まなかったこと、そのため寝つきが悪く遅くまで読書してしまったこと、あとで気がついたことだが、携帯電話の目覚ましは 6 時になったが、目覚まし時計はオフになっていたこと、ラジオの番組が違っていたのに秋の番組改編と思い込んでしまったことなどである。思い込みはこわい。これが医療の現場であれば間違いなく医療事故である。あるいは駅を素通りしてしまった JR の運転手である。日曜日に登校してしまった小学生もそうか。子供を遊園地に忘れてきてしまったお父さんとかも。

まあ、平凡な日常のちょっとした不思議な体験でした。(あなたは、頭の中は異常だけど、意外と日常は平凡な日々がつづいていたものね。) 何もないことを嘆くときもあるけれども、何もないことは実はとても大切なことでもあると知った。(健康を失って初めて健康であることのありがたさを知ることなのかしらね。) それとはちょっと違うけど、まあ、似たようなものか。終わってしまっただけで振り返ると楽しかったなあ。(その軽さがあたしは大好きよ)

編集後記

最近は何もない話題が少ないですね。医療関係では医師不足とか、医療事故とかそんな話しばかり。世間では食品や、論文や、建築のねつ造ばやり。ばれなければ上手く立ち回った方が得だ、という風潮は、悪いことをしても「お天道様が見ているぞ！」という日本人の倫理観みたいなものの崩壊を示しているとすれば、ちょっと寂しいですね。(KT)